

「まち語りサロン」 今度は本気 服部市政アドバイザーが明言

高蔵寺ニュータウンについて語り合おうと1月26日押沢台公園集会所において「まち語りサロン」が開かれた。これは昨年10月からスタートした「市政アドバイザー制度」高蔵寺ニュータウン担当の服部アドバイザーが直接住民から生の声



を聞こうという趣旨で開かれたもの。押沢台、石尾台、中央台、高森台などの住民33名が出席し、氏が司会進行役を務め車座になって話し合いは進んだ。まず、押沢台、石尾台の町内会、自治体協議会

どんぐりsから

日脚のぶ励むにあらず怠けもせず 清水基吉
まだ、寒い日が続いていますが、陽差しが心持ち春に近づいたような気がします。相変わらずあくせくしている毎日ですが、新聞に載っていた句に心惹かれたのでご紹介します。

中部大のCOC事業がいよいよ2月22日の市民フォーラム（於、中部大51号館5011講義室）で正式にスタートの運びとなりましたが、既に幾つかのシンポジウムや講演会、アンケートの依頼などが始まっています。ニュータウン再生が活気づくのは良いのですが、ばらばらに個別に行われるようになると混乱するのではないかと思われるため、住民側は東部ほととステーション運営協議会、大学側はCOC事業本部が窓口となって交通整理をすることとなりました。

また、1月26日から「まち語りサロン」が始まり市政アドバイザー服部先生が住民の声を市に届けて下さるとのことで、大いに期待しましょう。

理事長 曾田 忠宏

社協、コミュニティーなどの7名の責任者による現状や問題点などについて報告があり、その後、7名の参加者から自由意見や提案があった。

押沢台コミュニティー会長の林さんから住民の多彩な活動の報告があり、町内会会長からも、その拠点である押沢台公園集会所は予約で毎日ほとんど埋まっているほどの盛況であることも報告された。石尾台の吉田さんからは、押沢台や石尾台は住民活動が盛んで、この地域は防犯件数が低くまた選挙投票率はニュータウンでも高いなど、住みやすく安全で社会に対しても関心が高い地域である、との注目すべき報告もあった。しかし、一方で急激な高齢化から発生する問題、具体的にはURや市を加えたニュータウン再生、若者定住、ニュータウン内の足の問題、ブランドカアップ、などいくつかの問題提起やアイデアが出された。それに対して、服部アドバイザーが「確かに今までのタウンミーティングやいろいろな場での市民の声を充分活かしてきたとは言い難い。今度は本気だ。市の動きが悪ければ私が動く」と言い切った。服部アドバイザーの活躍を期待したい。

いざというとき役に立つ「相続と遺言」



安曇野遠望

森 健

私の朝・昼・晩

不安な想い

石尾台 堀内 泰

最近の政治情勢をみると不安な出来事が多く、先を考えると「きなくさい臭い」がしてならない。特定秘密保護法がこれだけ世論や各方面から反対がありながら強行採決。採決前の質疑応答で、以前、毎日新聞がすっぱ抜いた「沖縄返還にまつわり、本来国民が知るべき米政府との密約は対象になるのか」との野党の質問に「ときの政治情勢の判断による」との答弁。この事例からも分かるように、機密の対象はそのときの政府の考えで恣意的に変わっていき、自由にものを言えない諜報機関をつくる地ならしの感がする。加えて集団的自衛権のなしくずし的な行使、首相の靖国神社参拝と日本の右傾化に世界からも警戒の目で見られだしている。特に中韓との関係でみれば、参拝がいくら尊崇の念、不戦の誓いとは言いながら、相手から見れば戦争責任を放棄することになり、また、屈辱の過去に触れられて欲しくないことを行うことに繋がる。外交で最も大事な配慮に欠け、ますますこじれてくるのは自明の理である。先の大戦を見ても外交での孤立化こそがぬきさしならぬ羽目に陥ることは明らかである。これからの日本に不安を感じ、目を光らせていかなければならないと考えているのは私だけではないだろう。

1月のどんぐりsカフェは18日(土)東部ほっとステーションで「相続と遺言」について猪瀬俊雄弁護士の話をお聞きしました。

身近で関心のあるテーマとあって30余人の参加者があり盛会でした。

遺言が無い場合、民法が多くの場合に妥当するだろうと定めている法定相続によって相続される。その法定相続と異なる処分をしたいときや遺産争いの心配のある時、例えば配偶者の老後を保障したい、献身的に介護した嫁に遺産を与えたい、農業や個人的事業を引き継いでもら

いたいなどの場合は遺言をする必要がある。

遺言は自書、日付があれば有効とされる



が法的に完全なものは個人では難しい。弁護士、司法書士に相談し公正証書として作成しておくことをお勧めすると猪瀬さん。

猪瀬弁護士は毎月第1土曜日に高森台のカトリック高蔵寺教会で無料の法律相談を開催しています。要予約(92-2770)

◆2月どんぐりsカフェご案内◆

テーマ：こどもたちとまちづくり

---高森台中学校社会科授業を通して---

講師：松下貢二氏(高森台中学校教諭)

日時：2月15日(土) 13.30-16.00

会場：東部ほっとステーション(アピタ南館こども図書館隣)

資料代：500円、当日受付

◆ティーパーティご案内◆

日時 2月23日(日) 3月2日(日)

13.30~16.00

会場：東部ほっとステーション(アピタ南館こども図書館隣)

どなたでも参加できます。多数の参加をお待ちしています。